



2010.12.14

博報堂生活総合研究所

日本型成熟モデルを考えるシリーズ [第2回]

今の日本のイメージ年齢は、平均52歳。 今回の調査対象9カ国中、最高齢。

博報堂生活総合研究所では、日本全国の15～69歳の男女1,756名を対象に今の日本に対する評価や未来に対する願望を様々な切り口の質問により把握する「日本の未来像調査」を実施しました。

今回の日本型成熟モデルを考えるシリーズ[第2回]では、日本の成熟度を「今の日本・諸外国のイメージ年齢」という質問で測った結果を取り上げます。以下、調査からの発見について、ご報告します。

[質問文]

今の日本を人間の年齢にたとえたとしたら、何歳くらいだと思いますか？

なぜそう思われたのか、理由もご記入ください。

また、日本以外の国を人間の年齢にたとえたとしたら、今の各国の年齢は何歳くらいだと思いますか？

今の日本と諸外国のイメージ年齢(平均)

	各国の イメージ年齢	(参考)実際の 国民の平均年齢
1 日本	51.7歳	43.9歳
2 アメリカ	47.3歳	37.4歳
3 スウェーデン	45.8歳	41.0歳
4 イタリア	44.6歳	42.9歳
5 韓国	35.6歳	36.5歳
6 ブラジル	33.3歳	30.4歳
7 インド	32.7歳	26.7歳
8 シンガポール	32.5歳	36.2歳
9 中国	31.5歳	32.5歳

●各国と比較すると、日本に続くのは、アメリカ、スウェーデン、イタリアなど欧米の国々で、いずれもイメージ年齢の平均は、40代となっています。

●一方、中国、シンガポール、インドなどアジア各国のイメージ年齢は平均で30代と欧米の国々よりも、若くイメージされています。

●日本は諸外国の中で最高齢。また、実際の国民の平均年齢と比較しても8歳年上。熟年国家とイメージされているようです。

次頁以降で、日本のイメージ年齢の回答分布、実際の国民の年齢との比較結果、回答理由などをご紹介します。

101歳以上は集計外としたため、各国のサンプル数が異なります。
(集計サンプル数：日本1,732、アメリカ1,738、スウェーデン1,741、イタリア1,734、韓国1,738、ブラジル1,742、インド1,730、シンガポール1,745、中国1,712)

各国のイメージ年齢 …… 博報堂生活総合研究所「日本の未来像調査」

実際の国民の平均年齢 …… 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集 2010年版」

※生活者が思い描く日本やその未来像から考える「日本型成熟モデル」についてのニュースリリースは、今後もシリーズで発表していきます。

本件に関する
お問合せ先

株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所
株式会社博報堂 広報室

夏山・吉川
西尾・山野

TEL：03-6441-6450
TEL：03-6441-6161

今の日本のイメージ年齢

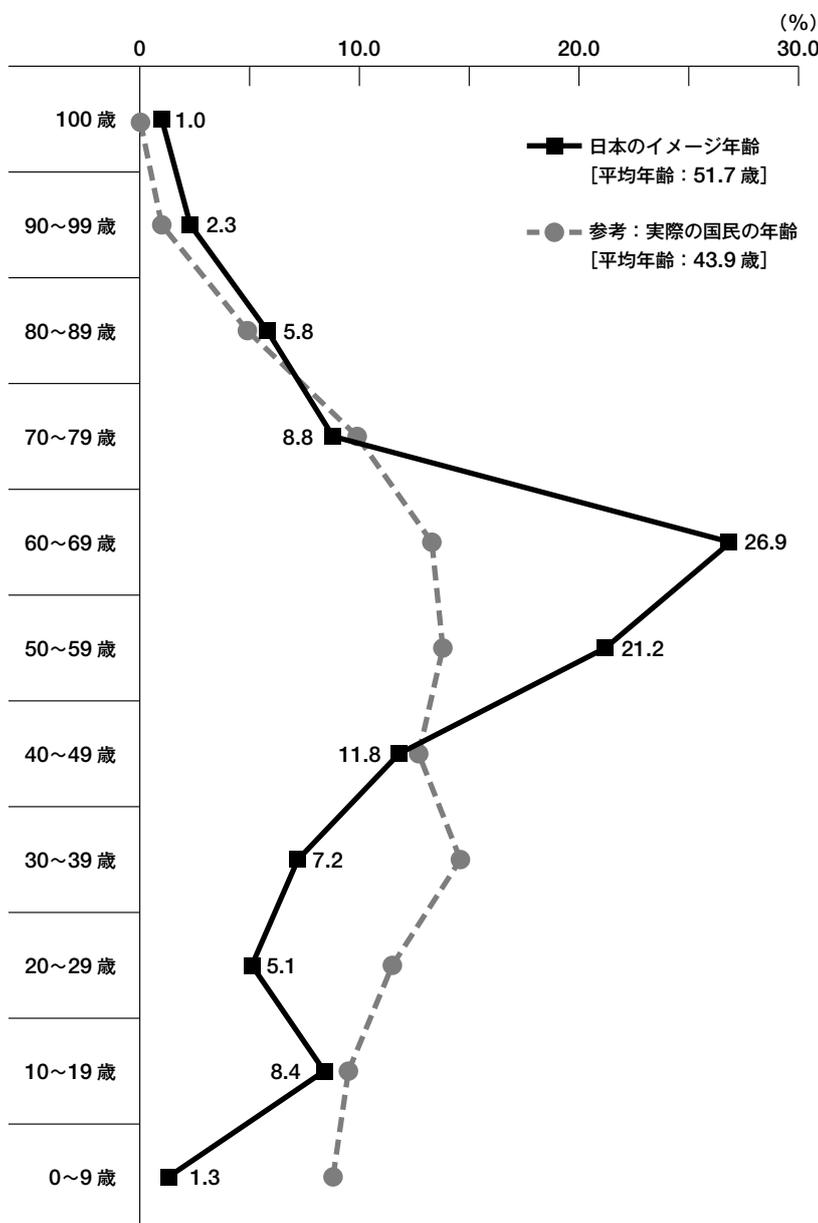
人間にたとえると、今の日本は「50-60代」とイメージした人が2人に1人（48.1%）。イメージ年齢の平均は52歳で、実際の平均年齢44歳よりも8歳も年上。生活者にとって、日本は実際よりも熟年国家に見えているようです。

- その他の年代を見ると、今の日本は「40代」（11.8%）以外は、どの年代も一桁台。年代の回答分布は分散しています。
- 実際の年齢分布と比較すると、イメージ年齢の分布は「50代」「60代」で5ポイント以上高く、「20代」「30代」で5ポイント以上低いという結果になりました。

[質問文]

今の日本を人間の年齢にたとえたとしたら、何歳ぐらいだと思いますか？
また、なぜそう思われたのか、理由もご記入ください。

(n=1,732)



	日本のイメージ年齢			(参考) 実際の国民の年齢
	全体	男性	女性	
100歳	1.0	0.7	1.4	0.0
90~99歳	2.3	1.7	2.9	1.0
80~89歳	5.8	5.0	6.6	4.9
70~79歳	8.8	8.0	9.7	9.9
60~69歳	26.9	29.6	24.2	13.3
50~59歳	21.2	21.4	21.1	13.8
40~49歳	11.8	11.8	11.9	12.7
30~39歳	7.2	6.7	7.6	14.6
20~29歳	5.1	5.3	5.0	11.5
10~19歳	8.4	8.9	8.0	9.5
0~9歳	1.3	0.9	1.7	8.8

101歳以上は集計外としています。

日本のイメージ年齢……………博報堂生活総合研究所「日本の未来像調査」
 実際の国民の年齢……………総務省統計局「世界の統計2010」のデータを元に作成
 実際の国民の平均年齢……………国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2010年版」

今の日本のイメージ年齢 [回答者の声]

何歳をイメージするかによって、日本に対する思いの違いが浮き彫りになりました。若年層から中高年層へとイメージする年齢が上がるにつれ、未来の可能性への期待が減り、現状に対する嘆きが多くなる傾向が見られました。

[質問文]

今の日本を人間の年齢にたとえたとしたら、何歳ぐらいだと思いますか？
また、なぜそう思われたのか、その理由をご説明ください。

日本は、20代以下と回答した人の声

未熟で自立していない。見た目は大人でも、中身は子供という意見が目立ちます。同時に、これからの成長可能性に対する期待も多くあげられています。

- 16歳** 自立心、人格面において未だ定まりきっておらず、まだ変化の余地を多く残している。仕事などで能力を発揮できる程度には成長している。(28歳 男性 岡山県)
- 22歳** 知識や技術は熟しているが、社会性、倫理、道徳などが未熟であると思う。(53歳 女性 東京都)
- 27歳** 社会の一員として大人としての責任が求められる一方で、本人の努力次第で、今後いかようにも人生が変わる可能性がある。(29歳 男性 神奈川県)

日本は、30-40代と回答した人の声

若い頃のパワーや勢いは減退しても、今の状況は次のステップに向けての試練、まだがんばれるといった応援意見があがります。

- 30歳** 若さと勢いでバリバリ働いた20代を過ぎ、今後の歩むべき道を試行錯誤する30代というイメージ。(48歳 女性 静岡県)
- 30歳** 急速なインフラ整備が終わり、生活のゆとりや環境など、次のステップの事柄を考える時代であるから。(25歳 男性 大阪府)
- 40歳** 多事多難が起こり、風雪に耐えている年代。(55歳 男性 東京都)

日本は、50代と回答した人の声

日本を衰退目前とする悲観的な声が目立つ一方、先行き不安ながらも今が勝負の時期と、次なる未来に期待する意見もあがります。

- 50歳** くたびれてきて、あちこちガタがきはじめている。が、まだまだできそう。(51歳 女性 兵庫県)
- 55歳** 「もうひと頑張りしないと このまま終わっちゃいますよ」っていう感じ。今が勝負時。(52歳 女性 岡山県)
- 53歳** バリバリの働き盛り(好景気)はとうに過ぎ去り、これからは老後(経済的に先進国としての役割を終えた後)のことを真剣に考える準備をしなければならない時期に来ていると思うから。(27歳 男性 東京都)

日本は、60代と回答した人の声

未来に期待する意見は少なくなり、逆に先行き不安に関する声が増えます。意欲や体力が衰え、思うようにならないといった諦めも目立ちます。

- 60歳** 全体的に活気がなく、これからの未来よりも過去の話ばかりをしている人が多いから。未来に悲観的な人が多く、若々しさを感じない。(33歳 男性 埼玉県)
- 60歳** 力はあるんだけど、意欲・体力に限界あり。落ちていくばかり。子供の世代に不安あり。(35歳 女性 大阪府)
- 67歳** 定年を60歳で迎え、今は年金とわずかなたくわえで生きている。先の見通しはなく、病気にでもなればどうしようかと先を憂いている。(52歳 男性 千葉県)

日本は、70代以上と回答した人の声

時代遅れ、何もできない、動けないなどと、日本の先行きを悲観する意見がさらに増えます。

- 70歳** 古い制度や時代遅れな考えを引きずり、革新的な行動に出る勇気がない。思考や口はまだ達者だが、動きの俊敏さに欠ける。(32歳 女性 福岡県)
- 70歳** 経済大国のピークも過ぎ、周りの国々にも相手にされない。すっかり過去の国という感じだから。(43歳 女性 長崎県)
- 95歳** 平和ボケしすぎて、自分では何もできないような状態。(17歳 男性 奈良県)

日本の未来像調査

- **調査概要** 生活者の今の日本の捉え方と未来に対する願望を多角的な質問切り口によって把握する。
[今回ご報告の質問テーマ]
日本および諸外国のイメージ年齢
各国の成熟度合いを年齢を切り口に測定。
日本については理由も聴取することで、年齢イメージの背景にある潜在意識を引き出す。
- **調査地域** 全国
- **調査対象者** 15～69歳の男女
- **サンプル数** 1,756名（有効回収）
全国を8地区に分割し、エリア別人口構成に応じて割付。
性年代別に10歳刻みで均等割付。ただし、10代は他の年代の半数とする。
※ 今回の「日本および諸外国のイメージ年齢」では、101歳以上の回答は集計対象外としたため、各国別の集計サンプル数はこの限りではない。
- **調査方法** インターネット調査
- **調査時期** 2010年10月
- **設計・分析** 博報堂生活総合研究所
- **実施・集計** 株式会社 マクロミル

書籍「生活動力2011」発行のご紹介

生活総合研究所は、書籍「生活動力2011 動の成熟 一楽しさ先進国をめざして」を発刊します。
「動の成熟」という生活の未来系をご紹介するとともに、
社会に楽しさの生産を実現していくための手掛かりをご提言します。

生活動力2011 動の成熟 楽しさ先進国をめざして

発行日：2010年12月15日
発行所：株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所
価格：8,400円（税込）
書籍案内およびご購入について <http://seikatsusoken.jp/publication/>



生活者が思い描く日本やその未来像から考える「日本型成熟モデル」についてのニュースリリースは、今後もシリーズで発表していきます。

既に発表済みの「日本型成熟モデルを考えるシリーズ」は
博報堂生活総合研究所のWEBサイト(<http://seikatsusoken.jp/news/release.php>)でご覧いただけます。
[第1回] 生活動力2011「動の成熟」(上記、書籍の概論)